

■□ベトナム ハノイとホーチミンの違い■□

こんにちは。

島根・ビジネスサポート・オフィス担当の藤井邦夫です。

8月は、久々にベトナム・ホーチミンに県内企業の視察アテンドで訪問いたしました。島根・ビジネスサポートオフィスの業務範囲はアセアン全域と4月にベトナム・ハノイへ視察した事を踏まえて同じ国であるが大きく違う事を改めて実感いたしました。

今回は、最近問い合わせが増加し注目を浴びているベトナムについて ハノイとホーチミンの違いについて紹介したいと思います。右の地図のとおりベトナムは国土が南北に長く北部のハノイ・南部のホーチミンに政治・経済・文化に関してそれぞれ特色と違いがあります。進出を検討する際は、国の理解だけでなく2大都市の特性も把握する必要があります。



ハノイ

日系の電気・電子の大手製造業（パナソニック、キャノン、ブラザー工業 etc）の進出が多く、大手に追随する形で下請けの部品工場の進出が進んでいます。また、二輪の本田技研、ヤマハ発動機もハノイに進出しています。（ハノイ・ハイフォン・北部ベトナム 日本人商工会会員数 計633社 2016年3月）

首都であるため、政治の中心である事と中国広東省が近い事から部品調達が容易である事がメリットとして挙げられます。反面、大手の進出が多いため工業団地等の賃料がホーチミンと比較すると高くなっています。

ホーチミン

ハノイと比較して、独立系や中小企業の進出が進んでいます。また、韓国企業の進出も多いのも特徴かと思えます。その結果、在留韓国人が7~8万人と日本人の在留邦人(7,779人)の約10倍とも言われます。（ホーチミン日本商工会 824社 2016年3月）

また、当然ながら韓国だけでなくシンガポールをはじめとする東南アジア諸国との交流が盛んな国際商業都市（様々な国の企業が進出）となっています。

最後になりますが、気候についても大きな差がありますのでご注意ください。ハノイには四季がありますが、ホーチミンは熱帯であるため常夏です。ホーチミンと変わらないつもりで、ハノイに冬に出張すると寒い思いをする事になります。

ベトナムで何を目的にどのような事業を行うのか？ その事業目的を達成するために、必要な資産（インフラ）や人材・物流・取引先・調達先全てを網羅的に確認の上、進出地域をご検討ください。視察のご要望はお気軽に当オフィスまでお問い合わせください。

☆☆タイから便り☆☆

～タイのトゥクトゥク～

バンコク市内での移動手段は実に様々です。高架を走る BTS や地下鉄 MRT、鉄道、市バス、タクシー、モーターサイ（バイクタクシー）、チャオプラヤー川を運行するエクスプレスボート等々……。渋滞が深刻なバンコクでは、時間帯や目的地に合わせて、様々な公共交通機関を巧みに使い分ける必要があります。



数あるバンコクの乗り物の中でも、タイの街を歩けば必ず目にする三輪自動車タクシー「トゥクトゥク」は、旅行気分を味わえることから、外国人観光客がタイに来たら一度は乗ってみたいと思うお馴染みの乗り物ですが、実はそのルーツが日本にあることはあまり知られていません。

「トゥクトゥク」はダイハツで1957年に生産開始された小型三輪トラック「ミゼット」の中古品が、ODAとしてタイに輸出されたものをタクシーに改造したのが始まりとされています。当初日本から来たミゼットは、そのままの状態でもタイ国内を走っていましたが、故障により他の自動車パーツを流用することで、限界まで使用されました。修理や改造の結果、タイの製造業の進化と共に、ミゼットのデザインを受け継いだ現在の「トゥクトゥク」が、国内でも新車としても作られるようになったのです。

タイに住んでいると見慣れた景色ですが、このように日本との関わりを知るとまた違う景色に見えてくるので不思議です。日本人の私は、タイと日本の繋がりを感じ嬉しくなります。

皆様も観光・視察でタイに来られた際は、少しでも日本に思いを馳せつつトゥクトゥクにご搭乗下さい。

島根・ビジネスサポート・オフィス Shimane Busuiness Support Office(Bangkok)

担当：藤井 邦夫 Kunio Fujii

Address :1 Glas Haus Building, 12 FL., Room 1202/D, Soi Sukhumvit 25,
Sukhumvit Rd.,Klongtoey-Nua,Wattana,Bangkok 10110

Tel :+66-(0)-2-261-10588

Mobile :+66-(0)-89-200-7763

Mail : shimane-bizsup@aapth.com



お気軽にご連絡ください。

当拠点の運営法人(島根県より業務委託)

■アジア・アライアンス・パートナー・ジャパン株式会社 <http://www.aapjp.com/index.html>

タイを中心に、ベトナム・インドネシア・インドにて主に日系中堅・中小企業様のアセアン進出や進出後の会計税務法務を中心とした運営支援業務を行っております。

ワンページタイ経済

項目	単位	2013	2014	2015	2016
GDP 成長率	前年比ベ(%)	2.80	0.9	2.8	3.2(1~3年)
人口*	千人	68,382	67,065	67,293(12月)	67,367(4月)
労働者の数*	千人	39,808	38,963	39,165	37,770(4月)
失業率**	%	0.72	0.84	0.89	1.01(5月)
最低賃金*	バンコク	300	300	300	300
	チョンブリー	300	300	300	300
	アユタヤー	300	300	300	300
	ラヨー	300	300	300	300
賃金:全国製造業の平均	パーツ	11,066	12,074	12,305	12,320(5月)
インフレ率**	前年比ベ(%)	2.19	1.90	▲0.90	▲0.19(5月)
中央銀行政策金利*	%	2.25	2.00	1.50	1.50(6月)
普通貯金率**	%	0.68	0.59	0.56	0.47(6月)
ローン金利(MLR)**	%	7.16	6.96	6.75	6.55(6月)
SET 指数*	1975年:100	1,298.7	1,497.7	1,288.0	1,444.9(6月)
パーツ/100円**	パーツ	31.53	30.77	28.31	31.19(6月)
パーツ/米ドル**	パーツ	30.73	32.48	34.25	35.48(6月)
円/米ドル**	円	97.6	105.84	121.0	111.8(6月)
車販売台数(1月からの累計)	台数	1,337,631	884,346	795,905	317,724(5月)
BOI 認可プロジェクト	件数	2,016	1,662	2,237	652(5月)
BOI 認可プロジェクト金額	10億パーツ	1,027.3	729.4	809.4	160.6(5月)

*期末、**平均